

母指 MP 関節陳旧性橈側側副靭帯損傷に対する短母指外転筋を用いた再建によりゴルフ・オフロードレースに復帰した1例

○飯尾 浩平 (いとお こうへい) (MD), 秋元 博之 (MD), 黒瀬 理恵 (MD),
佐々木 規博 (MD), 藤 哲 (MD)

独立行政法人国立病院機構弘前病院 整形外科

【目 的】

陳旧性母指橈側側副靭帯に対して JuggerKnot ソフトアンカーを用いて短母指外転筋の腱性部を側副靭帯の走行に re-route させることでゴルフに復帰できた症例を経験したので報告する。

【症 例】

症例は右利きの 57 歳男性である。ゴルフスイングにて左母指橈側側副靭帯損傷を受傷した。オフロードレースの日本を代表するドライバーでもあったが、保存治療にて不安定性が残存し、ハンド操作やゴルフプレイ時に母指を使用できず当科を受診した。受傷 8 ヶ月で JuggerKnot ソフトアンカーミニ 2 本を用いて短母指外転筋の腱性部を側副靭帯の走行に re-route させることで橈側側副靭帯を再建した。術後 7 ヶ月で不安定性は消失し痛み無くゴルフ・レースに復帰していた。ゴルフは受傷前よりスコアが伸びており、全日本のオフロードレースでは優勝した。

【考 察】

陳旧性母指橈側側副靭帯に対する短母指外転筋による再建術は、武内らが 1990 年に報告しており、良好な成績を得ている。しかし骨に直接再建靭帯を縫合する必要があり習熟を要する。今回我々は 2 本の JuggerKnot を用いることで骨固定の簡便化を図ることができた。またトップレベルのオフロードレース、レクリエーションゴルフに競技の低下なく復帰することができた。本術式は、簡便で有用な方法と考えられた。